

南信州飯田発「おひさまの挑戦」

SUN(さん)歩(ぽ)、一歩二歩三歩と着実に歩みます



さんぽちゃん

SUN+NPO

2008.11.07

おひさまのパワーを 活かして

南信州飯田のシンボル 風越山

エネルギーの地産地消で 循環型社会を目指す

NPO法人南信州おひさま進歩

おひさま進歩エネルギー株式会社

BDF精製実験プラント(飯田市内)

—使用済みの食用油が燃料に—

てんぷら油で車が走る
ナンバーも「123」



菜の花エコフェスタ IN 高松
2006年5月

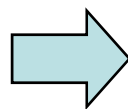


寄付型の第一号おひさま発電所 「さんぽちゃん1号」



2004年5月 飯田市内の私立「明星保育園」に寄付型でNPOが設置

おひさまの力で電気が生み出されている実感



子ども達の環境意識への働きかけ



屋内:おひさまパワーを確認中



屋外:訪問者にもアピール

太陽光発電の発電表示器

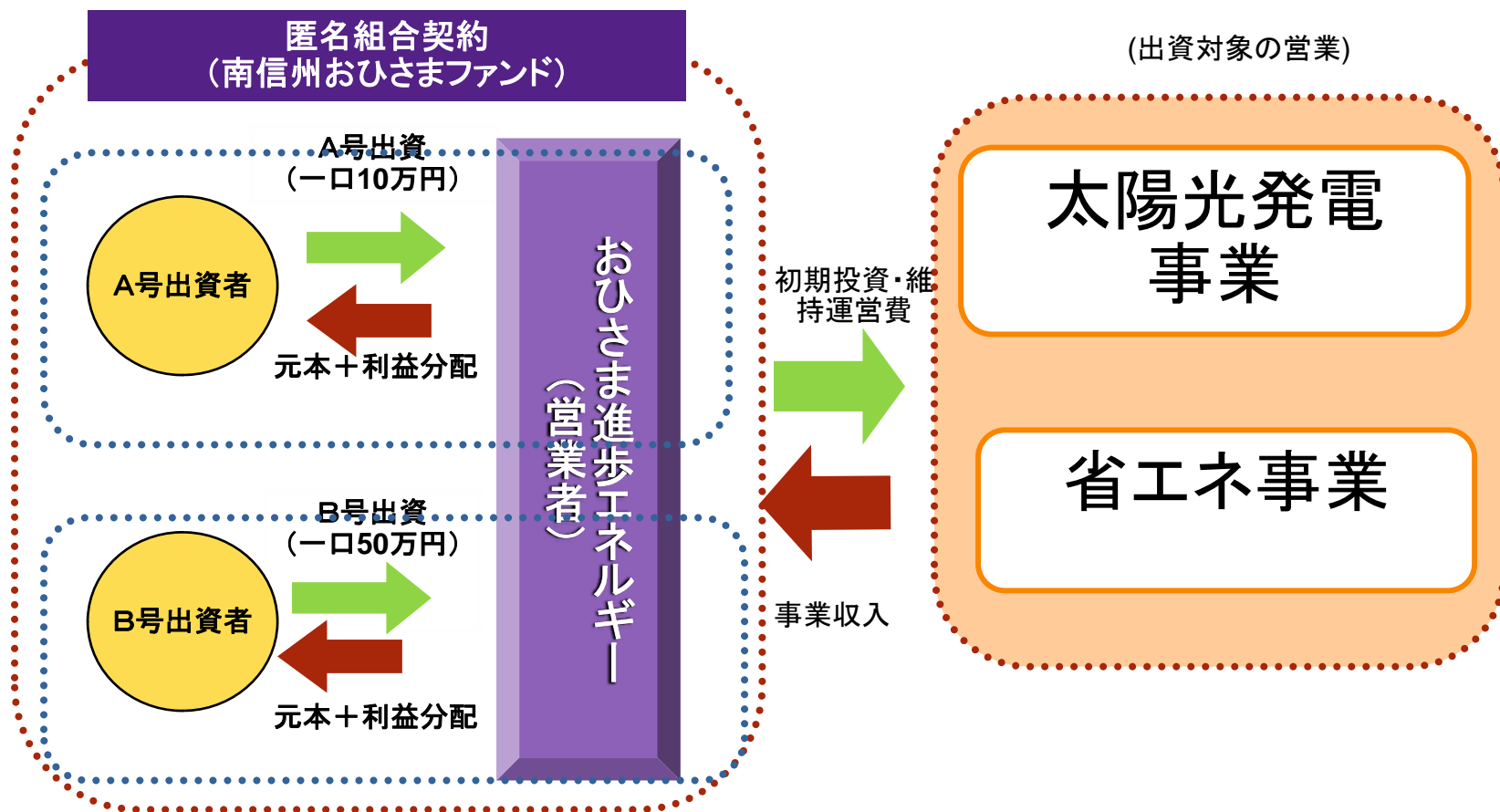
おひさま進歩エネルギーの成り立ち **パートナーシップ型環境公益事業**

NPOの市民事業の理念を核に、様々な主体の力を集めて立ち上がった。



日本初の「南信州おひさまファンド」の仕組み

市民風車ファンドの仕組みをもとに、1つのファンドから「太陽光発電」と「省エネ事業」の2つの事業に対する投資をする仕組み。出資者への利益分配も2%以上を計画。



<太陽光発電事業> 一普及啓発一

「おひさまパワーとさんぽちゃん」発電所は、こどもの環境教育にも活用



パネルシアター



真剣なまなざしの先にはさんぽちゃん？

さんぽちゃんが喜ぶ省エネって？

おうちへ帰ってやりにやーダメだに！

千代保育園



点灯式



座光寺児童センター

<おひさまファンドの太陽光発電事業のポイント>

飯田市との売買電契約内容の特徴

前例にとられない行政の決断

- ☆ 20年の長期契約であること。
(行政財産の目的外使用についても20年の契約)
- ☆ 22円/kwhの買取契約であること。
(ただし大きく変動する場合は調整)
- ☆ 20年の契約期間の間には、建て替え、移転等が考えられるが、基本的には「事業の趣旨」をくみとり、契約が継続できるように「配慮する」という規定などを盛り込む…

第一号おひさまファンドの出資の内訳

■ 名称:「南信州おひさまファンド」

■ 募集期間:2005年3月～2005年5月31日

■ 募集口数

- A号(10万円) 1500口
- B号(50万円) 103口

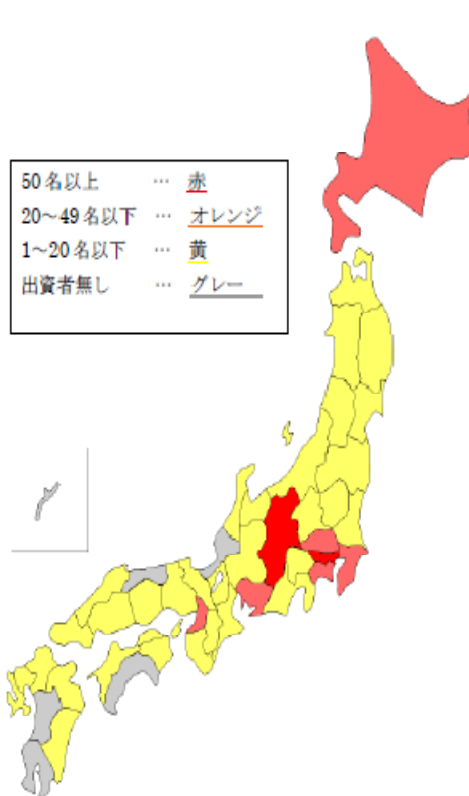
■ 出資者数 474名

- A号: 398名 B号: 76名
- ※内、A・B号両方に出資した人数14名

◆ 飯田市内出資者数(内数):60名

- A号: 53名 B号: 7名
- ※内、A・B号両方に出資した人数2名

都道府県別出資状況



50名以上	… 赤
20～49名以下	… オレンジ
1～20名以下	… 黄
出資者無し	… グレー

長野 72名	東京 64名	神奈川 45名
埼玉 38名	大阪 29名	愛知 27名
千葉 24名	北海道 21名	茨城 13名
福岡 13名	新潟 10名	京都 10名
兵庫 10名	静岡 9名	福島 9名
岩手 6名	愛媛 6名	広島 6名
群馬 5名	奈良 5名	岡山 5名
三重 5名	宮崎 5名	秋田 4名
栃木 4名	岐阜 4名	山梨 3名
石川 3名	長崎 3名	青森 2名
宮城 2名	山形 2名	富山 2名
和歌山 2名	佐賀 2名	滋賀 1名
島根 1名	山口 1名	香川 1名
徳島 1名	大分 1名	

<募集締め切り予定日の5月31日を待たず24日で満了>

出資者の声より抜粋

- ・社会に役立つところであればうれしい。
- ・地域に優しいエネルギーに投資できるなら少しずつでも続けたい。
- ・外国で自分の望む使い道にお金を預けるという話を聞いて自分もそういうところにお金を預けたいと思った。
- ・自然エネルギーの有効利用について自分にあった支援をしたい。
- ・人権、環境などに配慮した投資（市民バンク的なもの）があればそれに転換していきたい。
- ・遺産を納得の行くNPOや団体に寄付したい。死後も意思が残っていくと考えるのは活動の原動力になっている。

2007年11月に「おひさまエネルギーファンド(株)」を

「おひさまファンド」の取組みを全国的に展開していくため、組織変更と社名変更により現在の運営体制に。

法人名	おひさまエネルギーファンド株式会社
設立日	平成16年12月24日
資本金	300万円
株主	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>特定非営利活動法人 南信州おひさま進歩</u> ■ <u>特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所 (ISEP)</u> 原 亮弘 山口 勝洋
運営体制	取締役会長 原 亮弘 代表取締役社長 山口 勝洋 取締役 飯田 哲也 監査役 加藤 直樹
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本各地の自然エネルギー及び省エネルギー事業に係る匿名組合出資の募集・運営及び管理 2. 太陽光、バイオマス等の自然エネルギーを利用した発電・発熱業務及び電力・熱・燃料の販売 3. 高効率の照明や空調の省エネルギーに関する機器の導入販売及びリース 4. 自然エネルギーの環境付加価値を証書化した「グリーン電力証書」等に関する販売及びコンサルティング
関連企業	■ <u>おひさま進歩エネルギー株式会社</u>
本社所在地	〒395-0044 長野県飯田市本町2-15 いとうや3F TEL : 0265-56-3710 FAX : 0265-56-3712



取締役会長 原亮弘

•おひさま進歩エネルギー株式会社
代表取締役社長



代表取締役社長 山口勝洋

•備前グリーンエネルギー株式会社
代表取締役
•株式会社自然エネルギー市民
ファンド取締役



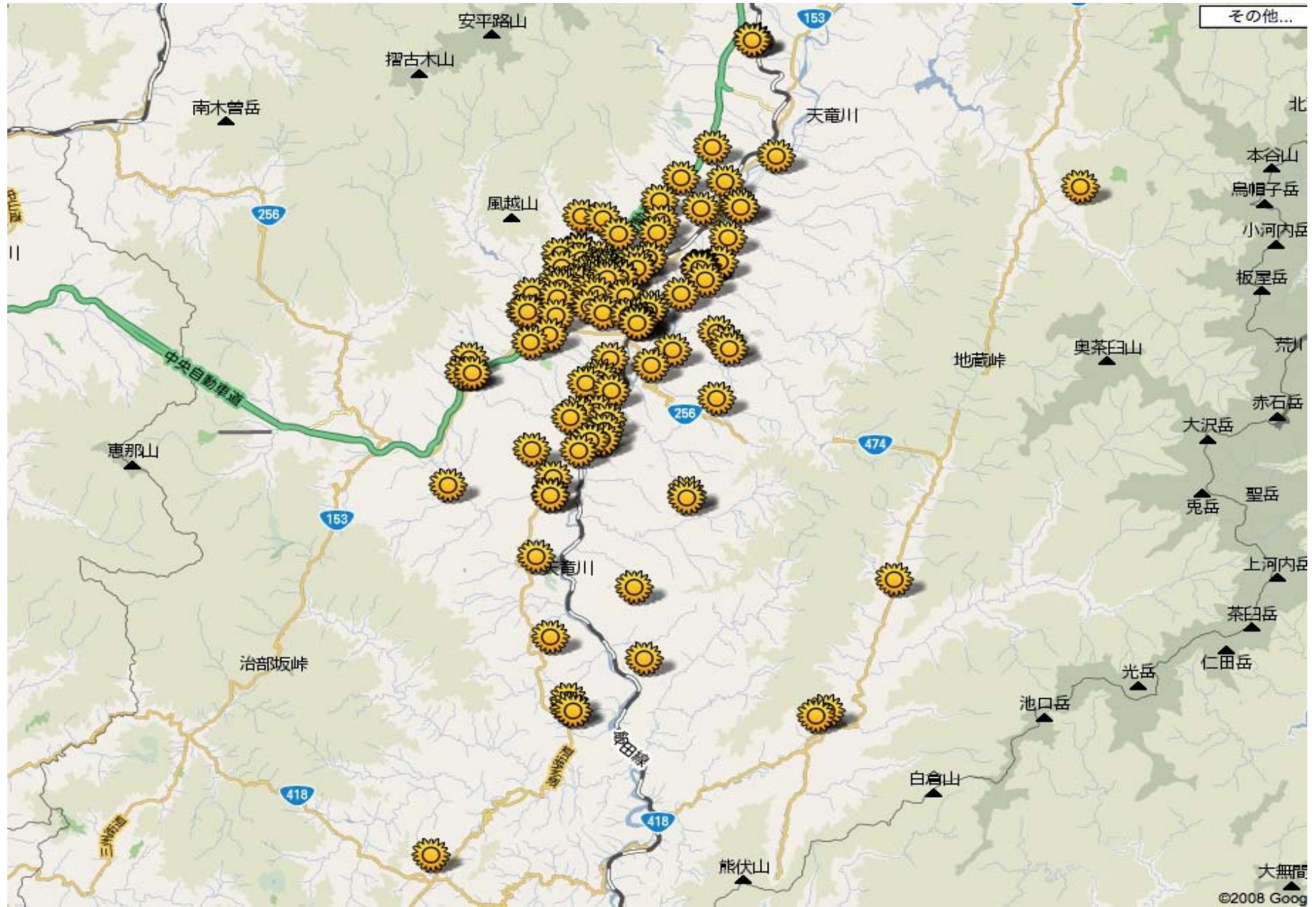
取締役 飯田哲也

•NPO法人環境エネルギー政策
研究所所長

おひさま進歩エネルギーは株式会社として、別会社化

南信州に面的に広がるおひさま・省エネ発電所・木質バイオマス利用施設

20年度末には162箇所(一部長野市など含む)



一人ひとりが**もったげない**気持ちで

無駄に使う**もったげない**

省エネ事業

折角あるのに使わない**もったげない**

太陽光発電など自然エネルギー事業